

平成 26 年 8 月 29 日

南砺市長

田中 幹夫 殿

福光自治振興会

会長 蟹野 正男

住所

電話

福光用排水調整委員会

委員長 石崎 耕三

住所

電話

要 望 書

当地区の振興発展に係る下記の事業の採択や促進について、次のとおり要望いたします。

記

1. 神田町地内用水の転倒ゲート改修をお願いします。 H26-037-001 土木課維持係

- ① この転倒ゲートは、平成 4 年に福光町全体の流水改善のため、福光町、福光自治振興会、福光用排水調整委員会が協議し設置したもので、改修や修理について三者で協議しその負担をきめております。

当時は除雪した圧雪で用水が詰まり、除雪が出来なくなることで、あちこちで道路に水が溢れ出すこと、家屋への浸水が大変な問題でした。

② 添付書類

- * H4/4/8 覚書 福光自治振興会と用排水調整委員会の協議
- * H4/2/18 会議録 神田町の水門についての協議

(町開発課、福光自治振興会、福光用排水調整委員会の協議)



* H4/2/18 会議録 神田町の水門についての協議

(福光自治振興会、福光用排水調整委員会の協議)

* H2/8/9 会議録 神田町分水口および用水改修に関する打ち合わせ

* H2/7/5 会議録 神田町分水口および用水改修に関する会合

以上

関係者

中央通町内会長

山下 武市



西町町内会長

澤田 喜朗



神田町町内会長

松村 久作



荒町町内会長

小泉 良規



栄町町内会長

吉川 誠



南砺市議会議員

水口 秀治



富山県議会議員

武田 慎一



福光自治振興会長

蟹野 正男

福光用排水調整委員会会長

石崎 耕三

覚 書

福光校下自治振興会(以下甲という)と福光用排水調整委員会(以下乙という)は、平成4年(3月着工 4月頃完成)に神田町石崎清治宅前に設置する転倒ゲートの管理について下記のとおり取り決める。

1. 転倒ゲートの修理について

大修理については福光町が実施する。

(平成4年2月18日、福光町役場において開発課長、甲、乙、地元町会議員が出席し協議した。開発課長からは大修理は町が負担するとの回答を得た。)

2. 通常管理費(軽微な修理を含む)について

通常管理費の負担は次のように分担する。

甲が8割 乙が2割

管理費の集計及び支払いの窓口は乙とする。

3. 管理期間

通常管理は乙が行う。なお、11月から3月までの期間は甲に委任する。

4. その他

この覚書にない事項、または、記載事項に変更を要する場合は、甲と乙は協議して決めるものとする。

この覚書は2通作成し、甲、乙のそれぞれが保管する。

平成 4 年 4 月 8 日

甲 福光校下自治振興会

会 長

金田外志雄



乙 福光用排水調整委員会

委員長

小泉



神田町の水門についての協議

(役場 開発課、自治振興会、用排水調整委員会)

日 時 2月18日 (火) 1:00-1:30

場 所 福光町役場 201会議室

出席者

吉江町会議員

富沢開発課長

自治振興会 金田外志雄会長、西村常次副会長

用排水調整委員会 小泉忠志委員長、石黒久俊副委員長、小泉喜美一特別委員、定村敬三特別委員、石崎敏行

協議事項

町 灌水用排水路の整備で神田町の水門の改修（無雪害町づくりの一貫）

昨日(2/17)業者へ発注 福光組

今後、下流へと進めていく

費用の一部地元負担、今後の維持・管理の問題を検討の結果

費用は、都市下水路として町が全額負担、維持・管理は、地元（振興会、用排水調整委員会）の方で願う

委員会 修理についてはどのようなになったのか

町 通常の小さな修理（部品等の損失・破損、ペンキの塗り替え等）は、地元で大修理（油圧装置の故障・取り替え）は町で負担

（どこの水門でもということはない この場所は公共性が高いので）

転倒ゲートは2年間業者の方で保証

どこの水門が地元負担で、どこがそうでないかという基準となるフローチャートを今、作成中である

委員会 修理の区分をはっきりしたほうがいいのではないかなと思うが、とりあえず何年かは修理はないとおもわれるので、修理が必要になった場合は弾力性の或る解釈で願う

今日のことは引き継ぎでもよく伝えておいてほしい

神田町の水門についての協議

(自治振興会、用排水調整委員会)

日 時 2月18日 (火) 1:30-2:00

場 所 福光町役場 201会議室

出席者

吉江町会議員

自治振興会 金田外志雄会長、西村常次副会長

用排水調整委員会 小泉忠志委員長、石黒久俊副委員長、小泉喜美一特別委員、定村敬三特別委員、石崎敏行

協議事項

町議 前回の協議では修理も全部地元でということであったが、今日の話では大修理は町が負担するということになったので、金田会長が各町内会長に話しやすくするのに負担割合を決めればどうか

振興会 今、ここで決めることは出来ないが、振興会、用水委員会へ持ち帰って会合をやってから決めた方がいいのではないかと。

会長個人的な意見では振興会8割り、委員会2割りぐらいがいいのではないかと思う

委員会 こちらのほうでは別に会合はやらないが、会長の意見通りが妥当だと思う
決まれば何か契約書、覚書等を作った方がいいのではないかと

神田町分水口及び用水改修に関する打ち合せ（第2回目）

日時 平成 25年 8月 9日（木）午後 7時-30分より

場所 福光町役場 202会議室

出席者

福光町自治振興委員会 会長 金田外志雄 副会長 石崎祐二 常任委員 石黒文俊

神田町々内会長 武田辰雄 書記 上坂吉明

福光町 都市振興課 係長 西村俊郎 岩佐 崇 上下水道課 豊田 正規

福光町排水調整委員会 委員 小泉忠志 副委員 桶谷修造 特別委員 小泉忠美 - 書記 沢野清之

関係者 古江良朝 吉居敏治

1. あいさつ 自治振興委員会

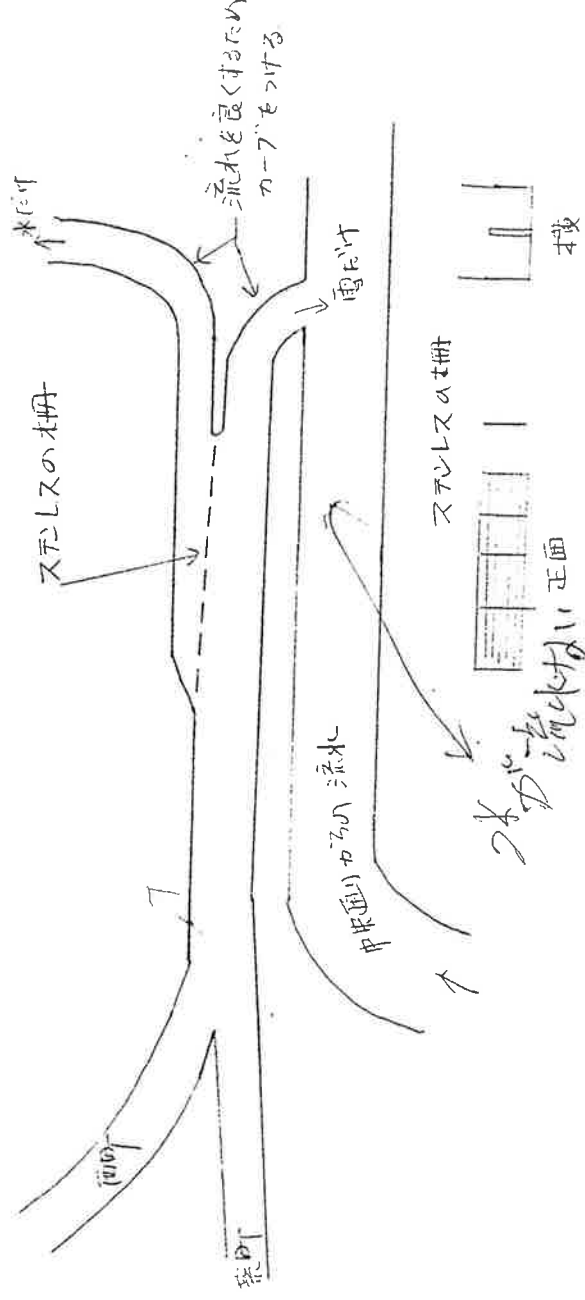
前回の会合において、もっと明確な計画を示せと指摘のあった計画が出来たので検討願います

2. 説明と意見 西村係長より説明

三点に分け 改修設計を作った

① 葉町と西町から来る排水を 神田町で二分する工事について。（下図参照）

葉町と西町から来る流れを合流させ 用水内にステンレスの柵を入れ 雪水を 片方へは水だけを
もう一方には雪ばかりが流れるものとする。



意見 ステンレスの柵による 雪と水の分離がうまくできるか 答 考え方には 理解を願いたい

いかいがある どのにも例のないことでもあり もっと検討を重ねて行く

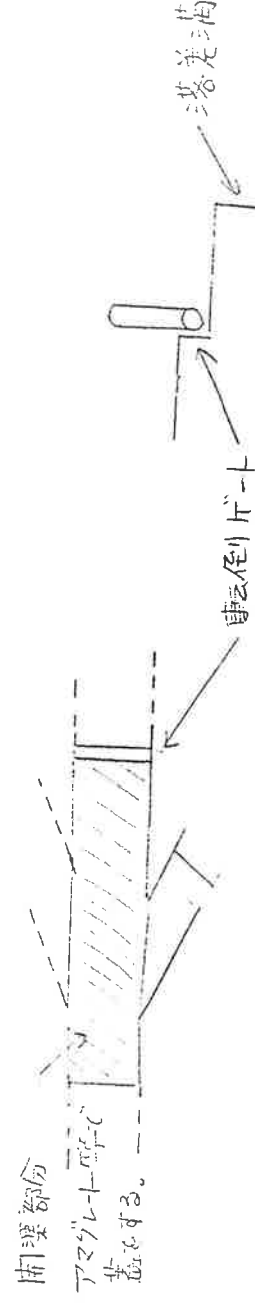
意見 現在の用水は 幅が広くなって流れが 中たまる所や 曲りが直角で 雪が溜りの原因になっ
ている対策は 答 その様なことにならぬよう設計したが 雪の流れが悪くなるようには

用水の底や側壁を ステンレスにしていく方法もある。

意見 用水管理省にて 意見と 述べる事ができる範囲がある 答 流水全体の事でない 地元と
話し合いながら 用水側の意見をお願したい。

意見 この部分の改修案にはまだまだ 検討が必要だ。

② 分水口について 現在 板で管理している水門を 雪隠りシートを使用し 用水の淵で流れを
管理する。これ以上外は 現状通りとし 南渠となっている部分に アマグリート等 で 嵩を掛ける。



意見 中田側ゲートと落差溝の構造と機能について 大層の水で自動的にゲートは倒れるから落差

溝の高さはこれでいいが 答 ゲートは自動とならぬ、手動管理である。高さはおもしろい。

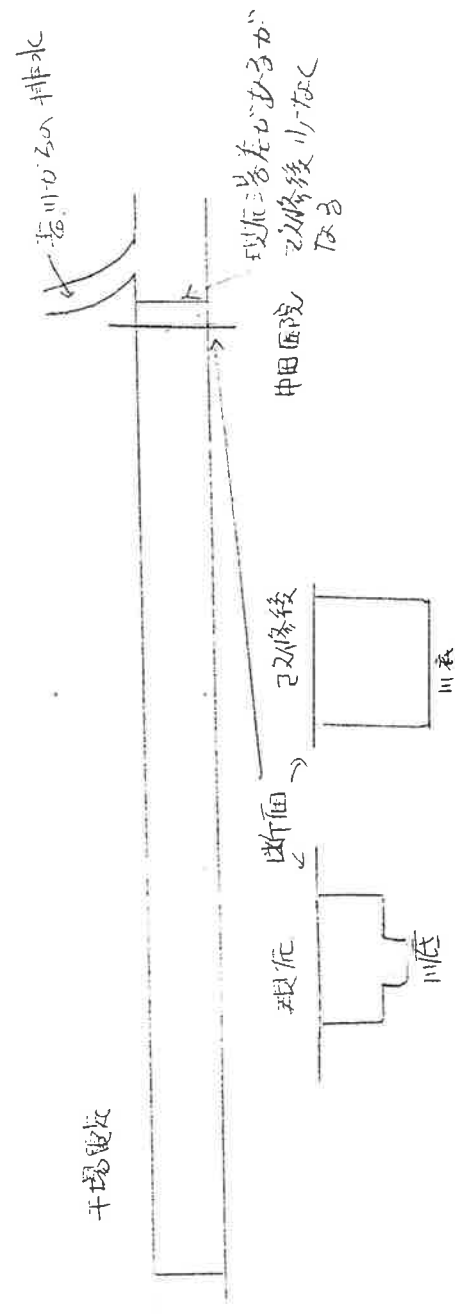
意見 雨渠部分の蓋は 長年の懸案事項であり、この他に、ある改修を終えてから 雨水の流れ
の状況を見ても、蓋をする事にはできないが、具体的に、他の部分の改修後、又へ3年後

答 どれくらいだろう

③ 分水口から下流について 現在の2段底となっている川底を直し、仮配も現在の1/98 から 1/100 と

して流水の早さをとする

図面参照



意見 中田医院の前には、長川からの合流口があり、改修がうまく行かないと、水がふき上がることになる。

また、下水管が川の下を横断しているが、この設置のよう川底を下げることには可能か、

答、検討する。

3. まとめ。

用水委員会と農家側より、今回の改修案は、まだ検討すべき点も多いが、一応、評価に値する。

工事案、分水口の蓋については、地元農家と十分な協議が必要である。

自治振興会より

。工事は分けて実施してもいい。よく検討の上、首長が、これについて、どうしたいか、町に予算
計上してもらうことになる。さらに、国県への陳情に行かねばならない。

。予備については、(1)の部分の工事には、流雪整備事業(都市計画課から)町50%、地元50%

(2)の部分は、無雪害町づくり事業(開発課から)県70%、町15%、地元15% (3)の部分には

都市下水道整備事業(上下水道課から)国50%、町50%、このような事業で考えている。

地元負担も必要となり、あちこちへの働きかけもしなければならぬ。対応を急いで載せてい

神田町の分水口と用水の改修に関する会合

開催日 平成2年7月5日(木) PM 7:30~9:00

場所 福光町役場 203会議室

参加者 福光校下自治振興会(会長)金田外志雄(副会長)川口武雄

石崎祐二(常任委員)石黒久俊、川合久仁(西野・内会長)

松居清(書記)一三敦司

福光用排水調整委員会(委員長)小泉忠志(副委員長)桶谷修造

(特別委員)定村敬三、小泉喜美一(書記)浅野清治

関係農家 古江良朔 舘敏治

福光町(都市計画係長)西村俊郎(下水道係長)

奥野伸一(係)本田幸雄

1. あいさつ 金田自治振興会会長

10数年来懸案事項となっている神田町の分水口及び用水の改修について、毎年雪の季節となると流雪に不便である。人事の変更もあったので、この機会に新らためて問題提起し、何とか改修を行ない便利の良い物としたい。そのための第1回目の会合としたい。

2. 概要説明と問題点及び改修案 西村係長

(1)改修を行ないたい場所の現在の構造を説明

(2)改修上の問題点 ①神田町干場電機から中田医院までの用水の二段底 ②分水場の開渠 交通の便が暗渠としたい ③神田町への取水口が高い ④流雪がまりの復水が主なもの

(3)改修案

①用水の二段底は町で改修できる ^{「まちとまじり」} 陳情すればできる。

②分水場の変更(以前に示したものと変りない)複雑な用水を一本化し、分水口のゲートを遠隔操作できるものとする。

① 神田町への取水 ゲートを二つに事により解決

② 復水は改修により解決

3. 意見

(1)この改修については30年前から話がある。なぜ話が進まないのか、なぜ回答無用なのか、そこには行政に対する不信感がある。

(2)行政は道を広げたいために蓋せよと言う。今までにこの様な改修に同意してきたが結果は水が来なくなった。「あの時言う事を聞いたばっかりに」と言う事になっている。農家はかり損をする。

(3)道を広げたいならお互いに地面を出し合えばいい、自分等は負担せず道ばかり広げろと言うから公共の物はかり蓋をする。考え方が違っているのではなか。

(4)行政なり町内は好きな事はかりやる マンホールを小さくし、音がうるさく、排雪にも不便だからアスファルトの大きなものにせよ等。そんな事に農家はいら立ちを感じている。

4. 今後の対応

(1) ^{改修にあたっての}基本事項を確認

○用水側からの要望 用水や水門の維持管理が容易であること、水が来ること。

○自治振興会からの要望 道の幅と流雪の便に困らないこと。

(2)事情の分かる人何人かで設計(案)をつくる。小矢部の水記工業等に相談する。全国の様な例を解決した所を見てくる。

5. その他 会合中話題となった点

○ゲートの構造と落差溝、砂ため。○下水管の敷設替え。

○現状の水門に改良を加える事と用水の改修により改善できないかなど

以上